

# ヘラー最強のダイナビームをクルーズで HID化に成功!!

# HELLA CRUIZE VW GOLF V HID

REPORT●高根英幸 PHOTO●小林康雄 〇ヘラージャパン(株) TEL050-5529-3150  
Japan@hjp.hella.com アルバートリック TEL03-5744-7080 http://albertrick.co.jp/  
クルーズ TEL0570-06-4147 http://www.heartnet.info/car/



交換前のハロゲンビーム。プロジェクターランプ特有のレンズが個性的な表情を感じさせてくれるけれど、光量不足は否めない感じだ

斜め前から見たところでも、ハロゲンとの違いはクッキリ。涼しげな蒼白光がよく似合う。フロントマスクが一層クールな表情になったのだ



ヘッドライト用はH7タイプのバーナーを使用。純正のバルブ形状に合わせて様々な種類を用意しているのだ



これはクルーズのゴルフV用のHIDキット。このキットにはライトの裏カバーに穴を開けるためのホルソーまで同梱されているから、ドリルさえ用意すれば取り付けもスマートだ

ライトユニットの裏カバーにホルソーを取り付けたドリルで穴を開ける。左のカバー2枚が加工前と加工後。ここにハーネスを通すけれど、グロメットで密着させて防水性も確保



HIDバーナーの取り付け自体はカンタン。純正のハロゲンバルブと交換するようなものだ



今回装着したバーナーは色温度6000Kのタイプ。蒼白光としては白さと明るさのバランスに優れる。他にも全7種類の色温度がある



左がハロゲン、右がHID。レンズ部分の明るさはハロゲンでもまずまずだけど、全体での明るさはHIDの方が断然上。それに白さが高級感を高めるのだ



取り付けくれたのは、モーターフィールドの梅村サン。フォグ用 HIDはスマートに取り付けられるのが嬉しいから、プロに任せたい方が安心だ



フォグ用のHIDを組み込むこともあり、今回はバンパーカバーを外して内部にバラストとコントローラーを組み込んだのだ

ヘラーブランドのゴルフV用アップグレードヘッドライト&フォグを装着したafインプ号、ゴルフV。今回さらなる進化を目指し、クルーズHIDでアップグレード。ヘラー×クルーズのダブルネームで、最強のライティングシステムが完成だ!!!



ロービームの方は、ハロゲンバルブを金具で固定する方式。このバルブ形状に合わせてバーナーを用意すれば、HID化は可能だ



フォグランプはバルブが差し込まれたソケットでランプユニットと固定する方式。このソケットと同形状のアダプターがあれば装着は不可能なのだ



撮影協力  
モーターフィールド  
TEL0564-65-8533  
愛知県岡崎市青木町10-5  
www.motor-field.com

## AFTER

6000Kの蒼白光が強力に放たれているのが分かるだろうか。フォグの方がライトより明るく見えるのは、光軸が広がってカメラにも入っているため。これが視界全体を均一に照らし出してくれるのだ。ロービームの真正面は強力過ぎて…キケンです



## BEFORE

配光そのものは同じだけれど、明らかにHIDと比べると暗い。ハロゲンの光は4300K程度なので温かみのある色ではあるけれど、フォグの広がりだけが頼りの郊外ではやや物足りない感じも。ただしロービームのビームライト自体はなかなか強力で、向きが変わるのはいい感じ

実際に装着してくれたのは愛知県・岡崎市のモーターフィールド。デジタルスピードのブランドで展開するコンピュータチューンで知られるショップだけれど、オイル交換から足回りまで幅広いノウハウを誇るプロショップ。HID装着も実にスムーズかつスマートな取り付けを行ってくれたのだ。こうしてダイナビームをHID化した結果、出来上がったのは無敵のライティングシステムだった。

色温度は6000Kと程々の蒼白光に抑えていることもあって、路面を照らし出す能力は抜群。スパーンと光の柱が前方に伸びる様は頼もしさすら感じる。さらにフォグをHID化したことで、視界全域がこれまでとは全然違う。とにかく明るい、一言に尽きるのだ。慣れない内は恥ずかしさすら感じるほど、周囲に注目されそうなる明るさなのである。

先行車や対向車のドライバーを幻惑しないよう、光軸には注意する必要があるけれど、シャープな配光特性のダイナビームとゴルフVの光軸の高さ調整機構の組み合わせなら、リヤの乗員や荷物の積載に合わせてコマメに光軸の高さ調整をしてやるだけで問題なし。

前方の視界全域を蒼白光が照らし出してくれるだけじゃなく、クルマが進む道を示してくれるライトビーム。ナイトシーンを彩るアクセサリとしても明かりは重要な要素。その点、ダイナビームはライトとフォグ、ポジションのどれも個性的な光を放つ。さらにHID化でドライブリングにより安心と安全をもたらしてくれるようになった。

これ以上のライティングシステムはちょっと思いつかない、のである。

クルマの旋回Gを感じて、ステアリングを切った方向に光を向ける、アクティブな配光特性のヘラー・ダイナビームは実にユニークなライティングシステムだ。

しかしそれ以前は純正のヘッドライトをHIDにアップグレードしていたのに対し、光源は再びハロゲンバルブに戻ってしまった。

ダイナビームはプロジェクタータイプのランプで光量を集束して使うため、スポット的に前方を明るくしてくれるが、その周辺以外は当然暗くなってしまふ。これ自体、フォグランプと組み合わせることで視界を広げるシステムではあるけれど、光量自体が減少していることもあって、街灯の少ない郊外などではHIDに比べて、やや物足りなさを感じたこともあったのだ。

やっぱりHIDを知ってしまったら、あの豊かな光量に敵うモノはない。それなら光量を再び高めるのが得策、というワケで今回はダイナビームをHID化する事に挑戦したのである。

ただしヘッドライト自体がノーマルではないので、従来装着していたHIDシステムをそのまま取り付けることはできない。そこでクルーズに再び相談することに。欧州車の車種別完全キットを展開しているクルーズは、欧州車のライティングシステムに関するノウハウが豊富なので実例のないダイナビームのHID化にも、きっと力になってくれると思ったのだ。

案の定、ダイナビームのフォグランプに使用されるバルブ形状はゴルフV用とは違う、特殊なモノだった。けれどもクルーズの斎藤サンは事前に心当たりのあるアタッチメントを用意して、万全の体制で取り付けに臨んでくれた